

1万5千人夏駆ける



発行所
北海道新聞社
郵便番号 060-8711
札幌市中央区大通西3-6
電話 011(221)2111
©北海道新聞社 2013

2013北海道マラソン



インターネットで道新ニュース
www.hokkaido-np.co.jp

ご購入申し込みは
0120-464-104



カウントダウンを合図に1万5千人が一斉スタート 午前9時



男子トップでゴールする五ヶ谷宏司選手



女子優勝者の渡辺裕子選手

男子は五ヶ谷、女子は渡辺V

夏のランナーの祭典、2013北海道マラソン(道陸協、北海道新聞社など)でつくる組織委員会主催)が8月25日、札幌市中央区の大通公園を発着とするコースで開かれた。男子は五ヶ谷宏司(JR東日本)が2時間14分26秒で、女子は渡辺裕子(エディオン)が2時間

29分13秒でそれぞれ優勝した。北海道マラソンは真夏に行われる国内唯一の本格的なフルマラソン。27回目の今回は、フルマラソンの定員を昨年の1万人から1万2千人に拡大した。また、より多くの市民ランナーに楽しんでもらおうと11・5キロのファンラン(定員3千人)を新設。合わせて1万5千人を超えるランナーが全国からエントリーした。

この日の天候は晴れ、気温26・5度、湿度51%(いずれもスタート時)。さっぽろテレビ塔の電光時計によるカウントダウンと号砲を合図にランナーが一斉にスタートした。沿道から温かい声援を受けながら、緑が生い茂る北海道大学構内や道庁赤れんが庁舎などを巡り、大通西8丁目のゴール目指して力を振り絞った。

感動のゴールシーンをもう一度
北海道マラソン
記念DVDを販売

完走者全員のゴールシーンを収録しています!!
ご注文はこちら

Doshin Online Store

歴代優勝者一覧

第1回(1987年)	<男子>フォードル・リジョフ (旧ソ連) 2時間24分28秒	<女子>ルイツツヤ・ベリヤエバ (旧ソ連) 2時間42分17秒
第2回(1988年)	<男子>西 政幸 (旭化成) 2時間17分11秒	<女子>ジェーン・ウェルゼル (米国) 2時間40分53秒
第3回(1989年)	<男子>谷口 浩美 (旭化成) 2時間13分16秒	<女子>ローレン・モラー (ニュージーランド) 2時間36分39秒
第4回(1990年)	<男子>篠原 太 (神戸製鋼) 2時間15分32秒	<女子>リサ・ワイデンバック (米国) 2時間31分29秒
第5回(1991年)	<男子>藤田 幸一 (沖電気宮崎) 2時間17分5秒	<女子>ローレン・モラー (ニュージーランド) 2時間33分20秒
第6回(1992年)	<男子>マイケル・スカウト (南アフリカ) 2時間16分38秒	<女子>オルガ・アベル (メキシコ) 2時間30分22秒
第7回(1993年)	<男子>タデッセ・ゲブレ (テクモ) 2時間15分34秒	<女子>藤村 信子 (ダイハツ) 2時間33分10秒
第8回(1994年)	<男子>エリック・ワイナイナ (コニカ) 2時間15分3秒	<女子>オルガ・アベル (米国) 2時間36分33秒
第9回(1995年)	<男子>タデッセ・ゲブレ (テクモ) 2時間15分7秒	<女子>有森 裕子 (リクルート) 2時間29分17秒
第10回(1996年)	<男子>ブルック・ベケレ (テクモ) 2時間14分26秒	<女子>安部 友恵 (旭化成) 2時間31分21秒
第11回(1997年)	<男子>エリック・ワイナイナ (コニカ) 2時間13分45秒	<女子>小倉 千洋 (和光証券) 2時間33分30秒
第12回(1998年)	<男子>アンベッセ・トロッサ (テクモ) 2時間10分13秒	<女子>山口 衛里 (天満屋) 2時間27分36秒
第13回(1999年)	<男子>松本 政大 (NTT西日本) 2時間12分8秒	<女子>松尾 和美 (天満屋) 2時間32分14秒
第14回(2000年)	<男子>ディオニシオ・セロン (メキシコ) 2時間17分14秒	<女子>市河麻由美 (三井海上) 2時間32分30秒
第15回(2001年)	<男子>佐々 勤 (旭化成) 2時間13分45秒	<女子>千葉 真子 (佐倉アスリート倶楽部) 2時間30分39秒
第16回(2002年)	<男子>サムソン・カンディエ (ケニア) 2時間15分12秒	<女子>堀江 知佳 (積水化学) 2時間26分11秒
第17回(2003年)	<男子>エリック・ワイナイナ (コニカミノルタ) 2時間13分13秒	<女子>田中 千洋 (トクセン工業) 2時間34分11秒
第18回(2004年)	<男子>ラバン・カギカ (JFE) 2時間12分20秒	<女子>千葉 真子 (豊田自動織機) 2時間26分50秒
第19回(2005年)	<男子>渡辺 共則 (旭化成) 2時間14分50秒	<女子>千葉 真子 (豊田自動織機) 2時間25分46秒
第20回(2006年)	<男子>渡辺 共則 (旭化成) 2時間17分50秒	<女子>吉田 香織 (資生堂) 2時間32分52秒
第21回(2007年)	<男子>ジュリアス・ギタヒ (日清食品) 2時間17分26秒	<女子>加納 由理 (セカンドウィンドAC) 2時間30分43秒
第22回(2008年)	<男子>高見沢 勝 (佐久長聖教員クラブ) 2時間12分10秒	<女子>佐伯由香里 (アルゼアスリートクラブ) 2時間31分50秒
第23回(2009年)	<男子>ダニエル・ジェンガ (ヤクルト) 2時間12分3秒	<女子>嶋原 清子 (セカンドウィンドAC) 2時間25分10秒
第24回(2010年)	<男子>サイラス・ジュイ (日立電線) 2時間11分22秒	<女子>原裕美子 (ユニバーサルエンターテインメント) 2時間34分12秒
第25回(2011年)	<男子>アルン・ジョロゲ (小森コーポレーション) 2時間14分10秒	<女子>森本 友 (天満屋) 2時間33分45秒
第26回(2012年)	<男子>川内 優輝 (埼玉県庁) 2時間18分38秒	<女子>吉住 友里 (大阪長居AC) 2時間39分7秒

※'87、'88は厚別競技場～宮の沢1-1折り返しで実施。'89～'08は真駒内屋外競技場～中島公園で実施。'09～'11は中島公園東側(豊水通)～大通公園西8丁目目で実施。'12からは大通公園西4丁目(駅前通)～大通公園西8丁目目で実施。

新人賞一覧

第15回(2001年)	<男子>水口 紀幸 (大塚製薬) 2時間25分28秒	<女子>藤本 絵美 (資生堂) 2時間42分40秒
第16回(2002年)	<男子>山本 佑樹 (旭化成) 2時間15分17秒	<女子>堀江 知佳 (積水化学) 2時間26分11秒
第17回(2003年)	<男子>中崎 幸伸 (トヨタ九州) 2時間13分26秒	<女子>野畑 麻衣 (サニックス) 2時間39分49秒
第18回(2004年)	<男子>北川 敬大 (大塚製薬) 2時間14分48秒	<女子>根来 亜紀 (北国銀行) 2時間37分51秒
第19回(2005年)	<男子>ムツリ・カリウキ (九電工) 2時間16分9秒	<女子>渡辺 芳子 (積水化学) 2時間43分17秒
第20回(2006年)	<男子>久保田 満 (旭化成) 2時間17分52秒	<女子>吉田 香織 (資生堂) 2時間32分52秒
第21回(2007年)	<男子>中尾 勇生 (トヨタ紡織) 2時間23分29秒	<女子>重田 明穂 (旭化成) 2時間42分19秒
第22回(2008年)	<男子>中本 健太郎 (安川電機) 2時間15分21秒	<女子>佐伯 由香里 (アルゼ) 2時間31分50秒
第23回(2009年)	<男子>山本 亮 (佐川急便) 2時間12分10秒	<女子>谷 奈美 (アルゼ) 2時間33分59秒
第24回(2010年)	<男子>サイラス・ジュイ (日立電線) 2時間11分22秒	<女子>岡本 美鈴 (北国銀行) 2時間48分14秒
第25回(2011年)	<男子>福山 真魚 (九電工) 2時間22分26秒	<女子>古瀬 麻美 (京セラ) 2時間36分55秒
第26回(2012年)	<男子>一花 建 (石川陸協) 2時間25分27秒	<女子>田端 沙紀 (大塚製薬) 2時間50分14秒

※新人賞は、2001年の第15回大会に設立。25歳以下でフルマラソン3回以下の選手を対象に表彰。先日の世界陸上(モスクワ)5位入賞の中本健太郎は2008年に受賞している。



昨年の覇者



2012年男子優勝の川内優輝(埼玉県庁) =右=と女子優勝の吉住友里(大阪長居AC) =左=。今年の栄冠は誰の頭上に?

詳細は明日の北海道新聞・道新スポーツをご覧ください

女子 大会記録保持者 男子



女子

嶋原 清子 (セカンドウィンドAC)

2009年(第23回)
2時間25分10秒

16分54秒
33分28秒
50分21秒
1時間7分19秒
1時間11分2秒
1時間24分25秒
1時間42分1秒
1時間59分43秒
2時間17分24秒
2時間25分10秒



男子

アンベッセ・トロッサ (テクモ)

1998年(第12回)
2時間10分13秒

15分38秒
30分54秒
46分40秒
1時間2分2秒
1時間5分32秒
1時間17分55秒
1時間33分20秒
1時間48分15秒
2時間3分34秒
2時間10分13秒

大会記録通過時間

スタート

5キロ

10キロ

15キロ

20キロ

中間点 (21.0975%)

25キロ

30キロ

35キロ

40キロ

フィニッシュ

北海道マラソン 交通遺児チャリティー募金のお知らせ

北海道マラソンはこれまで、全国の市民ランナーのご支援をいただき「北の都・札幌」の公道で開催してきた大会として、不幸にも同じ公道で事故に遭われたご家族などを励ます目的で「交通遺児チャリティー募金」を実施しています。

本大会参加料の一部と、コース沿道などで応援されている皆さまへ募金活動を行い、北海道交通遺児の会へ寄付させていただきます。

チャリティーを通じた交通安全の啓蒙普及と交通事故防止の呼びかけに、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

チャリティー募金口座(2013年9月13日締め切り)
 ◎北洋銀行 普通 1830043 ◎郵便振替 02720-1-56038
 ◎ゆうちょ銀行 当座 0056038
 ◎口座名(いずれも)北海道マラソンチャリティー事務局
 <お問い合わせ>
 北海道マラソン事務局
 〒060-8711 札幌市中央区大通西3丁目6
 北海道新聞社事業センター内
 ☎011-232-0840
 (平日の午前10時～午後5時)